



社会アクションラボ

行動を起こす一歩を支援する、中高大学生の団体、NPOや学生団体と、意欲のある人をつなぐ役割を果たす。

お話を聞く

認定NPO法人

難民を助ける会 (AAR Japan)

1979年に日本で発足した国際NGO（非政府組織）。困難な状況にあり、また弱い立場にある人々に支援を届けています。

移民問題とはどのようなことか、お話を伺いました。

難民とは何ですか？

難民(Refugee)というのは国際法で定義が決まっています。1951年の難民条約という国際法で「人種・宗教・国籍・政治的意見、又は特定の社会集団に属するなどの理由で、自国にいると迫害を受けるか、迫害を受けるおそれがあるために他国に逃れた人々」を難民と呼ぶと定めています。つまり、自分の意思で動いているのではなく、「逃げざるを得ない」状況の人たちです。

移民との違いは何ですか？

よく難民と混同される言葉が移民ですが、まったく違います。移民には明確な国際的定義はありませんが、一般的には仕事・教育・生活のために、自分の意思で他国に移動する人を指します。

難民は「迫害から逃げている人」。それに対し、移民は「生活のために移動している人」。ニュースでは、両者が曖昧なまま議論され、話が噛み合わなくなる場合があります。まずここを区別することが大切です。

難民の生活は「全員が弱い立場」だと思われがちですが？

難民といっても、本当にさまざまです。母国で先生だった人、エンジニア、通訳の人もありますし、中にはクレジットカードでホテルに泊まりながら避難して来る人もいます。「難民＝貧しい」というイメージに当てはまるのは、一部に過ぎません。「かわいそうな人」とひとくくりにせず、一人ひとりの事情を見ることが大事です。

〈今回のインタビュアー〉

じゅんか（高1）

ジェンダー平等・貧困地域の医療技術の格差に興味がある。

さち（中3）

難民問題など国際的な分野に関心がある。

AARJapanさんが行っている活動を教えてください

私たちの団体は、海外と国内の両方で活動しています。海外では、紛争などの影響を受けた人たちに、命を守るための緊急支援と、その後の生活を支える長期的な支援を行っています。食糧、水、医療、教育など、その地域の人たちと協力しながら必要な支援を実施しています。

一方、日本国内ではアフガニスタンから避難してきた人々への支援を行っています。アフガニスタンの女性は文化的背景から外出が難しいことが多いため、料理教室を開き、地域との交流や外出のきっかけづくりをしています。

難民キャンプに「物を送る寄付」が難しいのはなぜ？

物資をそのまま送ることは、実はとても難しいんです。主な理由は次の三つです。

1. 輸送コストがかかる
誰が輸送コストを負担するのが問題になることが多いです。
2. 手続きが煩雑で時間がかかる
3. 現地の経済を壊してしまう
大量の物が来ると地元のお店が売れなくなりします。

国際支援では、「現地で買えるものは現地で買う」が基本です。何か送りたい時は、すでに募集している団体の活動に参加するのが最も安全です。

私たちにできること

「何かしたい」と思ったときに、いきなり難民の人に直接会おうとするのは現実的ではありません。そこで現実的なのは、すでに現場とつながっている団体に参加することです。国際交流協会、外国人支援のNPO、多文化共生のグループなど、地域にはさまざまな団体があります。イベントや料理教室、日本語教室のお手伝いなど、関わり方はいろいろあります。

もう一つ大事なことは、不安や偏見を否定せず受け止めること。背景を知り、一人の人として向き合うと見え方が変わります。

国際支援で「現地の人との関わり」が大切な理由は？

支援とは、ただ物を届ければ良いというものではありません。文化、考え、宗教、生活の仕方を理解した上で現地の人と一緒に「何が本当に必要か」を考えることが大切。日本でも、アフガニスタンの女性のように外へ出にくい文化がある場合は料理教室など自然に外に出られる場をつくり、地域の人と交流できる状況を整えます。こうした顔の見える関係が支援を長く続ける上で最も重要です。

日本にきた難民・移民の方々は、どんな問題を抱えていますか？

まず直面するのは、言葉の壁です。日本語は複雑で、仕事や学校で困らないレベルになるには時間が必要です。そのため仕事に限られて収入が低くなりやすく、家賃の高い東京には住みにくくなります。その結果、比較的生活コストの安い地方都市に住む傾向があります。子どもの教育面では、来日が遅いほど授業についていくのが難しく、進学のハードルも高くなります。さらに地域で孤立しやすく、相談相手がいままま不安が大きくなることもあります。そのため、私たちは「顔の見える関係」をつくる場づくりを大切にしています。

日本が「難民認定率が低い」と言われる理由は？

日本の難民認定率が低い理由にはいくつかあります。
・迫害の証拠を求められる
しかし、逃げてくる人が十分な証拠を持っていないことは珍しいです。
・労働目的の申請と、本当に迫害から逃れてきた申請が混ざる
制度の隙間を使う申請が増えると審査が厳しくなる。ただ、本当に保護が必要な人が送還されることはあつてはならないため、AARとしても制度の運用状況を引き続き注視しています。